



学校だより 令和5年10月
新宿区立四谷第六小学校
校長 岩澤 肇

【 教育 目 標 】
・自ら学ぶ子ども
・たくましい子ども
・思いやりのある子ども

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6>

スポーツから学ぶこと

副校長 笈田 貴之

10月になり、早いものでもう年度の折り返し点となりました。6日には前期の通知表をお渡しします。4月から半年間の子どもたちの頑張りと努力、課題が記されています。できるようになったことや頑張ったことをご家庭でたくさん褒めてあげてください。また、ふり返りの時間をつくっていただき、新たな課題や目標をもって後期の学校生活に向かってほしいと思っています。

さて、世界3大スポーツイベントの一つ「ラグビーワールドカップ」がフランスで開催されています。

ラグビーは競技として成立した当初審判がいなかったそうです。反則等は想定されず、もめごとがあれば、両チームのキャプテンが相談して判定していたそうです。その名残が今でも残っており、監督は観客席にいて、試合中の指揮はキャプテンに任されています。

また、ラグビーでは試合中、審判がよく選手に話しかけています。「それ以上は反則になるよ」「それ以上出たらオフサイドだよ」などと声をかけプレーの結果を見て判定をするだけでなく、それは審判が選手を指導しながら一緒に試合をつくっているようにも見えます。

試合後は「ノーサイド」といって、両チームの選手や審判が歓談する習慣もあるそうです。

ラグビーは無論競技であるので、勝負を競うのですが、それ以上に人間性の育成を意識してきたスポーツの一つなのではないかと思えます。

どんなスポーツでもそれを通して学ぶことができる様々なことがあります。そのスポーツのもつ意義というものを知り、技術などだけではなく、学ぶべきことがらを学んでいくこともスポーツに携わるときに大切なことではないかと考えます。

※四谷第六小学校では、10月28日から11月17日までの約1か月、芝生の養生期間に入ります。この期間、運動やスポーツができる場所が限られてしまいますが、工夫を凝らして運動の楽しさや大切さを子どもたちに実感させていきたいと思っています。是非ご家庭や地域でも、あらためて子どもたちの体を動かすことの楽しさ・大切さを伝え、日々運動に親しむことを大事にしていいただければと思います。

あゆみ（通知表）について

教務部

10月6日（金）に「あゆみ」（通知表）をお渡しします。「あゆみ」の評価は、絶対評価で行います。一人一人の発達段階をふまえ、その学期にどれだけ達成できたのかということをお評価します。

学習の記録に関しては、①「知識・技能」②「思考・判断・表現」③「主体的に学習に取り組む態度」の三観点で評価を致します。「道徳」は、お子様の学習の様子を文章にてお伝えします。また、「総合的な学習の時間」に関しては、後期に文章にてお伝えします。（3～4年生の外国語活動の様子も文章でお伝えします。）

「あゆみ」は、お子さまがよくがんばった点やもう少し努力が必要な点を客観的に判断していただく材料にしていきたいと思っています。その上で、お子さまが次の目標を見付け、更に成長していくことができるように、前向きな声掛けをお願いします。

運動会について

体育主任

「新時代 あきらめずに走り出せ
四六運動会！！」

今年度の運動会のスローガンは、代表委員会が中心となり考えました。

10月に入ると、運動会に向けての練習・準備が本格的になります。今年度は全学年合同での運動会となります。児童席、観覧場所を確保する関係上、保護者の方々は2学年ずつの入れ替え制となります。各学年の演技・競技や児童の係活動等、四六小の子どもたち全員が活躍する姿をぜひご覧ください。運動会を通して、体を動かす楽しさ、協力することの大切さを実感させていきたいと思っています。